



2024年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月11日

上場会社名 株式会社シイエヌエス 上場取引所 東
コード番号 4076 URL <https://www.cns.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関根 政英
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営戦略本部長 (氏名) 猪子 昌俊 TEL 03 (5791) 1001
四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第3四半期の連結業績（2023年6月1日～2024年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第3四半期	4,980	14.0	512	15.5	527	12.6	350	11.1
2023年5月期第3四半期	4,368	7.7	443	△3.3	468	△9.2	315	△10.0

(注) 包括利益 2024年5月期第3四半期 350百万円 (11.1%) 2023年5月期第3四半期 315百万円 (△10.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第3四半期	120.63	-
2023年5月期第3四半期	108.62	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第3四半期	4,664	3,560	76.3
2023年5月期	4,547	3,341	73.5

(参考) 自己資本 2024年5月期第3四半期 3,560百万円 2023年5月期 3,341百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	-	0.00	-	45.00	45.00
2024年5月期	-	0.00	-		
2024年5月期（予想）				46.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,724	12.3	724	29.6	740	26.0	487	12.7	167.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期3Q	2,906,000株	2023年5月期	2,906,000株
② 期末自己株式数	2024年5月期3Q	ー株	2023年5月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年5月期3Q	2,906,000株	2023年5月期3Q	2,906,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、賃上げへの動きや企業の高い投資意欲を背景に、雇用・所得環境は改善し、景気は回復基調が続いた一方、金融引き締めによる世界経済の減速懸念等により、先行き不透明な状況が続いております。

国内の情報サービス市場は、デジタル技術を活用したビジネスプロセス及びビジネスモデルの変革、DX(デジタルトランスフォーメーション)の実現に向けて、引き続き企業のIT投資は旺盛なまま推移いたしました。IT・デジタル人材については依然として不足しており、需給差の拡大や賃金上昇の背景から、システムソフトウェアの開発単価は上昇傾向にある一方で、採用環境は厳しい状況となっております。

このような環境の下、DX向けソリューションである、クラウド構築、ビッグデータ分析、業務ワークフローの自動化(ServiceNow)により、顧客企業が提供する価値増強への支援を継続するとともに、2023年6月に立ち上げたコンサルティング事業においては、企業のDX戦略の策定、実行支援のニーズに対応しており、ITソリューションからコンサルティングまでワンストップで対応するサービスを提供してまいりました。また、2023年8月に発表したリブランディングの下、当社が次のステージに進むための社内向け施策に着手しております。当社の中長期的な成長を見据え、改めて当社の強みを再定義したリブランディングでは、新たに当社ブランドメッセージ「BEYOND THE RIGHT ANSWER. -正解以上の答えをだそう-」を策定し、コーポレートアイデンティティのリニューアルも実施いたしました。当社の価値の源泉である3つの強み「人を想う力」「技術を活かす力」「可能性を広げる力」と、当社が目指すこれからの“CNS”の姿を表現しております。

当社の事業は主に準委任契約による受託開発・システムコンサルティング等であり、人員数の増減が収益に影響を与えるビジネスモデルではありますが、以降でご説明する各既存事業の対前年同期増減率については、2024年5月期からの下記の新事業体制による人員異動の影響を考慮しておりません。

●システム基盤事業を再編し、一部のリソースをデジタル革新推進事業、業務システムインテグレーション事業、コンサルティング事業へ移管

●ビッグデータ分析事業に属するリソースをコンサルティング事業へ移管

【当四半期の状況】

デジタル革新推進事業では、既存の性能やデータベース移行に関するテクノロジーコンサルティング案件、及び第1四半期連結会計期間にて新規に獲得したキャッシュレス決済アプリケーション開発案件規模の拡大に伴い、エンジニアの増員につながりました。注力するServiceNowについては、ビジネスパートナーとして導入支援をともに推進してまいりました株式会社NTTデータ以外の顧客からも導入支援案件を獲得した結果、当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は、前年同期比24.0%増の1,341,698千円となりました。売上総利益率は、ServiceNowパートナー認定ランクに関する一定の取り組み費用の発生により、前年同期比1.6ポイント減の24.2%となりました。

ビッグデータ分析事業は、組織再編による人員減少、新規顧客において計画していた案件の中止や既存顧客都合による案件規模縮小による影響を受けましたが、小規模案件を複数獲得できた結果、当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は、前年同期比0.2%増の853,502千円となりました。

システム基盤事業では、当社独自サービス「U-Way」をフックに、SES契約ではなくサービス提供型による新規エンドユーザーへの提案機会が増えており、利益率向上に寄与しております。売上高については、第1四半期連結会計期間に既存顧客から受注した案件の維持及び新規案件獲得したものの、組織再編による人員減少の影響をカバーするには至らず、当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は、前年同期比6.0%減の1,332,786千円となりました。なお、既存顧客への交渉による単価アップや「U-Way」OCIシリーズのサービスの寄与により、売上総利益率は、前年同期比2.1ポイント増の24.7%となりました。

業務システムインテグレーション事業は、これまで同様、金融業界における法規制等に対応する大型スクラッチ開発案件やシステム老朽化対応案件、第1四半期連結会計期間に獲得した新規案件を順調に継続できていることに加え、既存案件における増員もあつたことにより、当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は、前年同期比14.2%増の1,160,848千円となりました。

コンサルティング事業については、既存事業において主にコンサルティング案件に対応していたエンジニアを移管しており、これら既存案件は引き続き継続できていること、また、生成AIや金融機関向けのコンサルティング案

件を新たに獲得できた結果、当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は、291,297千円となりました。なお、計画に対しては、主にコンサルティング人材の中途採用の遅れから案件獲得が進まず、通期予想の進捗は遅延しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は4,980,134千円（前年同期比14.0%増）となりました。期初計画のとおり、認知度向上に向けたIR・PR活動に積極的に取り組んだことにより当該費用は増加したものの、即戦力人材採用活動の見直しによるコスト削減等があったことで販管費率は前年同期比で0.5ポイント減少し、営業利益は同15.5%増の512,282千円、経常利益は同12.6%増の527,682千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同11.1%増の350,537円となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は4,664,937千円となり、前連結会計年度末と比較して117,759千円の増加となりました。これは主に、ソフトウェア仮勘定が34,985千円減少した一方で、現金及び預金が161,421千円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,104,061千円となり、前連結会計年度末と比較して102,008千円の減少となりました。これは主に、賞与引当金が63,449千円、未払法人税等が11,488千円増加した一方で、その他に表示されている未払金が186,914千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,560,876千円となり、前連結会計年度末と比較して219,767千円の増加となりました。これは主に、配当により利益剰余金が130,770千円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が350,537千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における取り組みは、概ね計画どおりに進んでおり、2023年7月13日付「2023年5月期 決算短信」で公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。なお、別途、2024年5月期第3四半期決算補足資料を開示しておりますので、併せてご確認ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,163,473	3,324,895
売掛金及び契約資産	731,278	717,328
棚卸資産	15,083	5,254
その他	41,214	49,590
流動資産合計	3,951,049	4,097,067
固定資産		
有形固定資産	71,695	69,325
無形固定資産		
ソフトウェア	44,710	53,717
ソフトウェア仮勘定	34,985	-
その他	50	46
無形固定資産合計	79,745	53,764
投資その他の資産		
保険積立金	242,231	243,285
その他	254,175	253,214
貸倒引当金	△51,719	△51,719
投資その他の資産合計	444,687	444,780
固定資産合計	596,129	567,870
資産合計	4,547,178	4,664,937
負債の部		
流動負債		
買掛金	377,492	358,796
リース債務	2,753	2,806
未払法人税等	80,536	92,024
賞与引当金	-	63,449
その他	334,207	163,763
流動負債合計	794,989	680,841
固定負債		
リース債務	10,651	8,539
役員退職慰労引当金	318,552	327,265
退職給付に係る負債	81,876	87,414
固定負債合計	411,080	423,220
負債合計	1,206,069	1,104,061
純資産の部		
株主資本		
資本金	478,775	478,775
資本剰余金	434,675	434,675
利益剰余金	2,427,658	2,647,426
株主資本合計	3,341,108	3,560,876
純資産合計	3,341,108	3,560,876
負債純資産合計	4,547,178	4,664,937

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)
売上高	4,368,726	4,980,134
売上原価	3,264,850	3,739,985
売上総利益	1,103,875	1,240,149
販売費及び一般管理費	660,363	727,867
営業利益	443,512	512,282
営業外収益		
受取利息	35	34
受取配当金	7,400	9,000
受取保険金	6,482	2,162
助成金収入	10,928	2,965
その他	639	3,769
営業外収益合計	25,486	17,931
営業外費用		
支払利息	168	220
保険解約損	—	2,309
その他	4	0
営業外費用合計	173	2,530
経常利益	468,825	527,682
特別利益		
会員権売却益	1,545	—
特別利益合計	1,545	—
特別損失		
減損損失	—	13,592
その他	—	172
特別損失合計	—	13,765
税金等調整前四半期純利益	470,371	513,917
法人税等	154,720	163,379
四半期純利益	315,651	350,537
親会社株主に帰属する四半期純利益	315,651	350,537

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益	315,651	350,537
四半期包括利益	315,651	350,537
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	315,651	350,537

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)

当社グループは、システムエンジニアリングサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)

当社グループは、システムエンジニアリングサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。